

令和4年度 事業者向け「リトル・ピース」自己評価表

放課後等デイサービス リトル・ピース

回答者: 7名

実施日: 令和5年1月4日

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	無回答	取り組み状況
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	7				法令を遵守した指導訓練室等の広さを確保しています。
	②	職員の配置数は適切であるか	7				運営基準で定められた基準を上回る職員を配置しています。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		7			出来る範囲でのバリアフリー化は進めておりますが、完全なバリアフリー化は難しいです。そのため、段差等の転倒が予想される箇所では、事故防止のために職員が配慮しています。今後も必要に応じて環境整備等を行ってまいります。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	7				定例的なミーティングを開催し、業務改善に努めています。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	7				年度の初めに保護者アンケートを実施し、要望等の把握に努めています。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	7				当法人公式ホームページ「ひびきてちょう」のなかで、「放課後等デイサービス自己評価表」を公開しています。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			7		放課後等デイサービス自己評価の結果を業務改善につなげることを優先し、第三者評価についてはその後導入を検討してまいります。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	7				内部研修については定期的に開催しています。外部研修については、対面研修やオンライン研修を問わず回覧にて情報提供を行いました。また、対面開催の研修にはコロナ禍の状況をみながら受講しました。
適切な 支援の 提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	7				子どもと保護者のニーズや課題を踏まえたアセスメントをするために、保護者面談や学校の先生方との連携会議等を開催し、放課後等デイサービス計画(個別支援計画)を作成しています。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか		1	6		標準化されたアセスメントツールでの判定結果を所有している保護者に提出を依頼し、お子様の支援に活かすよう努めています。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	2	5			活動プログラムの立案は主に各担当者が行っていますが、活動によってはチームで立案する場合があります。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	7				10種類以上の活動を月間予定にランダムに組み込んでいます。また、活動の内容も固定化されないよう工夫しながら取り組んでいます。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	3	4			放課後等デイサービス計画(個別支援計画)の支援目標については、具体的な目標を設定し、子どもの利用時間や様々な状況を踏まえながら支援にあたっています。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	7				放課後等デイサービス計画(個別支援計画)を作成するにあたっては、子どもの特性や興味関心を踏まえて個別や集団での活動を行っています。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	7				毎日のミーティングや口頭で情報交換したり、前日の記録を見ることで子どもたちの様子を確認しています。

	⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	7				支援終了後に、当日の振り返りや目標に対する結果の確認を行い記録に残しています。また、その場に参加できない場合は、翌日記録を見ることにより情報共有に努めています。	
	⑲	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	7				個別支援計画の目標に対する支援の結果について記録し、その記録等をもとに支援についての話し合いをしています。また、学校や家庭からの情報や、当事業所でのエピソードを記録し支援に活かしています。	
	⑳	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	7				定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画(個別支援計画)の見直しを行っています。	
	㉑	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ、支援を行っているか	7				基本活動を複数組み合わせ、支援を行っています。	
関係機関や保護者との連携	㉒	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	6	1			現在サービス担当者会議には、児童発達支援管理責任者が出席しています。今後は、必要に応じて子どもの担当職員等が同席することも検討してまいります。	
	㉓	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	7				学校より、年間・月間・週間の予定表をいただいています。また、子どもたちの送迎時に、学校での様子を伺いながら情報共有や連絡調整を行っています。	
	㉔	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか				7	現在は医療的ケアが必要な子どもの利用はありません。	
	㉕	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか			7		必要に応じて児童発達支援事業所等との情報共有を行っています。	
	㉖	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか			7		相談支援事業所を通じて情報提供する場合があります。	
	㉗	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか			6		1	発達障害者支援センター主催の研修を受講するよう努めています。
	㉘	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか				7		コロナ禍であることもあり、交流を控えています。
	㉙	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	7					一関地区障害者自立支援協議会のこども部会に参加しており、その内容について職員に共有しています。
	㉚	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	7					保護者のお迎え時や自宅への送迎時に、その日の活動の様子をお伝えしています。
	㉛	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	7					ペアレントトレーニングは実施していませんが、保護者一人一人に合わせた関わり方をお伝えしています。また、必要に応じて話し合いをするなかで、子どもとの関わり方を一緒に考えていく機会を設けています。
	㉜	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	7				契約時や、重要事項説明書が変更になる場合等、書面を交付しながら丁寧な説明を心がけています。	
	㉝	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	7				年に2回の保護者面談や、その都度様々な相談に対する助言等の支援を行っています。	

保護者への説明責任等	③②	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	3	4		コロナ禍ではありましたが、感染症対策を施したうえでクリスマス会を開催し、保護者同士の交流の機会を設けました。
	③③	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	7			苦情対応の体制を整備しています。また、苦情があった場合は迅速かつ適切な対応に努めています。
	③④	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	7			年に2回「ひびき通信」を発行したり、毎日の活動の様子をブログに投稿しています。
	③⑤	個人情報に十分注意しているか	7			職員間の日常の会話においても、個人情報に十分注意しています。
	③⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	7			子どもの理解しやすい方法(視覚的情報等)を活用し、意思の疎通や情報伝達を行っています。
	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	7			地域の市民センター所長をクリスマス会にお招きしたり、広報誌である「ひびき通信」を市民センター等に掲示していただいています。
非常時等の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	7			令和4年9月に「非常災害時の対応について」の内容を保護者にお知らせするとともに、「災害伝言ダイヤル171」の体験利用を実施しました。
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	7			年2回の避難訓練を実施しました。
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	7			内部研修にて虐待防止に関する研修を実施するとともに、「虐待防止委員会」を設置しました。
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	7			身体拘束をする場合の要件を職員間で共有し、その内容を保護者に事前に説明し了解を得た上で放課後等デイサービス計画(個別支援計画)に記載しています。また、やむを得ず身体拘束を行った場合は必要な事項を記録し、その後対処の仕方についての再検討を行っています。
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	7			保護者に対する年度初めのアンケート等で食物アレルギーの情報を収集し、その食材をおやつ等に出さないよう配慮しています。
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	7			職員ミーティング時に、毎回ヒヤリハットの有無を確認し、その内容について協議しています。